

『試練の先にあるもの』

●本日の聖書箇所 ・ルカ 22 章 31～61 節（新改訳第 3 版 抜粋）

22:31 シモン、シモン。見なさい。サタンが、あなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って聞き届けられました。22:32 しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。だからあなたは、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」22:33 シモンはイエスに言った。「主よ。ごいっしょになら、牢であろうと、死であろうと、覚悟はできております。」22:34 しかし、イエスは言われた。「ペテロ。あなたに言いますが、きょう鶏が鳴くまでに、あなたは三度、わたしを知らないと言います。」・・・

22:39 それからイエスは出て、いつものようにオリーブ山に行かれ、弟子たちも従った。22:40 いつもの場所に着いたとき、イエスは彼らに、「誘惑に陥らないように祈っていなさい」と言われた。22:41 そしてご自分は、弟子たちから石を投げて届くほどの所に離れて、ひざまずいて、こう祈られた。22:42 「父よ。みこころならば、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、みこころのとおりにしてください。」22:43 すると、御使いが天からイエスに現れて、イエスを力づけた。22:44 イエスは、苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。汗が血のしずくのように地に落ちた。22:45 イエスは祈り終わって立ち上がり、弟子たちのところに来て見ると、彼らは悲しみの果てに、眠り込んでしまっていた。22:46 それで、彼らに言われた。「なぜ、眠っているのか。起きて、誘惑に陥らないように祈っていなさい。」

22:47 イエスがまだ話をしておられるとき、群衆がやって来た。十二弟子のひとりで、ユダという者が、先頭に立っていた。ユダはイエスに口づけしようとして、みもとに近づいた。22:48 だが、イエスは彼に、「ユダ。口づけで、人の子を裏切ろうとするのか」と言われた。22:49 イエスの回りにいた者たちは、事の成り行きを見て、「主よ。剣で撃ちましょうか」と言った。22:50 そしてそのうちのある者が、大祭司のしもべに撃ってかかり、その右の耳を切り落とした。22:51 するとイエスは、「やめなさい。それまで」と言われた。そして、耳にさわって彼をいやされた。22:52 そして押しかけて来た祭司長、宮の守衛長、長老たちに言われた。「まるで強盗にでも向かうように、剣や棒を持ってやって来たのですか。22:53 あなたがたは、わたしが毎日宮でいっしょにいる間は、わたしに手出しもしなかった。しかし、今はあなたがたの時です。暗やみの力です。」

22:54 彼らはイエスを捕らえ、引いて行って、大祭司の家に連れて来た。ペテロは、遠く離れてついて行った。22:55 彼らは中庭の真ん中に火をたいて、みなすわり込んだので、ペテロも中に混じって腰をおろした。22:56 すると、女中が、火あかりの中にペテロのすわっているのを見つけ、まじまじと見て言った。「この人も、イエスといっしょにいました。」22:57 ところが、ペテロはそれを打ち消して、「いいえ、私はあの人を知りません」と言った。22:58 しばらくして、ほかの男が彼を見て、「あなたも、彼らの仲間だ」と言った。しかしペテロは、「いや、違います」と言った。22:59 それから一時間ほどたつと、また別の男が、「確かにこの人も彼といっしょだった。この人もガリラヤ人だから」と言い張った。22:60 しかしペテロは、「あなたの言うことは私にはわかりません」と言った。それといっしょに、彼がまだ言い終えないうちに、鶏が鳴いた。22:61 主が振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは、三度わたしを知らないと言う」と言われた主のおことばを思い出した。22:62 彼は、外に出て、激しく泣いた。

◆本日の説教のポイント

聖書は、私達の人生と信仰を破壊しようとサタンが働いていることを教える。そして、神様は、ペテロだけでなく、私達にも様々な試練や苦しみを許される事がある。その試練を通して、ペテロだけでなく、私達の信仰も崩れ落ち、激しく涙するような事が起こりえる事をこの箇所は私達に教える。

何故、様々な試練、サタンの試みが私達の人生に起こる事を神様は許されるのであろうか。私達はこの地上生涯において、その全ての理由を知る事はできないかもしれない。しかし、聖書は明確にそのいくつかの理由を教える。私達はペテロに起こった激しい試練を通して学び人生の大切な指針と励ましとしよう。

第1の理由は、私達が真に自分自身を、自分自身の弱さを知り謙遜さを学ぶ為である。私達は物事がうまくいっている時ほど、自らを見失い、知らず知らずのうちに高慢になり、この時のペテロのように、たとえイエス様の御言葉に反したとしても、祈らなくても大丈夫だと思いがちである。しかし、様々な試練を通して、自らの弱さを知り、謙遜になって祈る事の大切さ、み言葉に従っていく事の大切さを学ぶのである。

第2の理由は、私達の信仰は他者の祈りによって支えられている事を覚えるためである。主イエス様は、この先ペテロがどうなっていくかをご存知であった。全てをご存知だからこそ、「信仰がなくならないように」祈られたのである。私達が今、こうして主イエス様を信じる信仰が与えられ続けているのは、主イエス様が、そして主イエス様の心を頂いた兄弟姉妹が祈り続け、支え続けて下さっているからである。私達は今、信仰が与えられている事を主イエス様に、多くの兄弟姉妹に感謝する者となろう。そして、兄弟姉妹の為に、特に試練の中にある方々の為に、私達も祈り続ける者となろう。

第3の理由は、試練の経た先に、様々な試練や苦しみの中にいる方々を励まし、力づける為である。主イエス様ご自身が、あらゆる苦しみ、痛みを経験されたのは、私達を救い出すためであられた。様々な苦しみ、試練を経た者だけが、苦しみの中にいる者に寄り添い、そして力づける事ができるのである。

私達は試練が起こる事を覚えておこう。又、私達は、十字架の苦しみを経、勝利を得られた主イエス様が祈り、共にいて支えて下さる事を、それゆえ、必ず必ず試練を乗り越える事ができることを信じよう。私達は、主イエス様と共に、苦しみ、試練の中にいる人々の為に祈り、力づける者となろう。

●心に残った事、決心した事を書きとめよう
